

令和3年度 新入職医師の紹介



京都山城総合医療センター

Kyoto Yamashiro General Medical Center

【乳腺外科】

部長：松田 高幸（平成4年卒）（外来日：木・金）

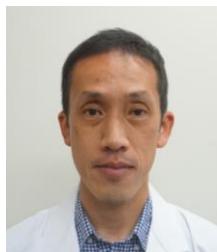


令和3年4月から当院乳腺外科に赴任いたしました、松田です。

卒業年度は平成4年ですが、パリオリンピックまでには還暦を迎えます。華やかな送別・歓迎もなかったことで、劇的な変化を感じず自然にこちらへ移行できたような気がします。この地に馴染んで、中井前院長先生の築いてこられたものを大切に受け継いでいきたいと思います。

【産婦人科】

副部長：貴志 洋平（平成13年卒）（外来日：月・木）



この春より産婦人科医師として勤務させて頂くことになりました、貴志洋平と申します。前任地では13年間、腹腔鏡や小切開手術など低侵襲の手術を専門的に行ってきました。女性は月経周期を繰り返す中で、年齢特有の症状や悩みを抱えますが、産婦人科医の役割は女性本来の生理的機能を損なうことなく生活の質を保つサポートをすることだと考えております。

時には手術が最も適した解決策である場合も少なくなく、このような患者様には低侵襲の手術を提供したいと願っております。京都山城総合医療センターは地域の周産期拠点病院ですが、これに加えて子宮内膜症などによる月経症状で悩む患者様にとって頼りにして頂ける幅広い診療をさせて頂く所存です。この地域の女性が元気で過ごせるよう精一杯尽力したいと考えておりますので、ぜひ気軽にご相談していただけますよう、お願い申し上げます。

【総合内科】

医員：清水 和久（平成28年卒）（外来日：月）



令和3年4月より総合内科に赴任いたしました。平成28年に岡山大学医学部を卒業し、初期研修を岡山大学病院、3年間の内科後期研修を岡山市立市民病院で終えて地元の関西に戻ってまいりました。総合内科として診断に困る症例の鑑別診断、急性疾患の初期対応などを行いますが、各専門科とも連携し治療にあたります。また、高齢で病気よりも加齢の要素の方が大きい病態や、入退院を繰り返しており綿密な地域連携を必要とする症例などにも対応いたします。

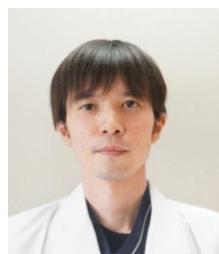
不慣れな点も多くご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願ひいたします。

【リウマチ科】 医員：花谷 望都子 (平成29年卒) (外来日：月・水)



令和3年4月よりリウマチ科に赴任しました花谷望都子と申します。初期研修医1年目を京都山城総合医療センターで行い、山城地域の患者様、諸先生方に育てていただきました。2年目に京都府立医科大学附属病院で行ったのちに、膠原病リウマチアレルギー科での研修を行いました。膠原病疾患は若年者から高齢者まで、全身を診ていく診療科になります。人生の様々な局面に寄り添うことができる診療をこころがけるよう、精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

【腎臓内科】 医員：田中 寿弥 (平成30年卒) (外来日：月・火)



令和3年4月より腎臓内科に赴任致しました、腎臓内科4年目の田中寿弥と申します。平成30年に京都府立医科大学を卒業後、京都山城総合医療センターと京都府立医科大学付属病院での初期研修を経て、令和2年より腎臓内科専攻医として京都府立医科大学付属病院で1年間勤務しておりました。日々勉強中であり、至らぬ点が多々あると思いますが、精一杯頑張らせて頂きます。腎臓疾患が疑われる場合はお気軽にご紹介頂けますと幸いです。何卒よろしくお願ひいたします。

【糖尿病・代謝内科】 医員：本塚 阜 (平成31年卒) (外来日：火・金)

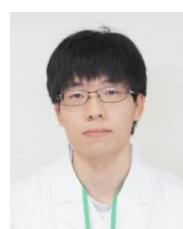


4月より糖尿病代謝内科に赴任いたしました本塚阜と申します。平成31年に京都府立医科大学を卒業し、京都岡本記念病院で2年間の初期研修を経て、3年目より本病院に勤めさせていただきます。糖尿病代謝内科に足を置きつつ、広い視野を以って様々な症例の診療に当たりたいと思っております。また、平日の内科救急も一部担当させていただき、京都南部の救急医療にも貢献していきたい所存です。経験年数は浅いですが精一杯頑張りますので、今後とも何卒宜しくお願ひ致します。

【研修医】



はとり 羽鳥 左和子



おく 奥 智貴



みやぎ 宮城 浩輔



こう 高 彰宇



しもだ 下田 悠元



おとじま 音嶋 達斗